

ちがさき

青少年指導員だより

第 23 期 活動目標

茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会

1. 青少年指導員は、よりよい情報を発信し、子どもたちが明るく健やかに育つよう地域づくりに努める
2. 青少年指導員の活動を地域の方々に理解してもらえよう努める
3. 青少年指導員としての資質を高めるよう積極的に取り組む

主な活動

- 体験活動の促進
- 青少年団体の育成と支援
- 地域づくり
- 相談と対応
- 調査と情報提供
- 健全育成の推進(つどい)

活動イメージ
と
今号の内容

- ・育 てる(青少年を支えて育てる) 茅ヶ崎市青少年育成のつどい活動内容
- ・頼 れ る(青少年団体の活動を支援する) 青少年育成のつどいの運営について
- ・つ なが る(青少年と地域のつながりに貢献) 学区活動紹介
- ・守 る(青少年を健全に守る) 後期活動記録(主催事業・協力事業・行政事業)

育てる(青少年を支えて育てる)

【第 31 回 茅ヶ崎市青少年育成のつどい】

平成 26 年 1 月 11 日(土) 開催しました



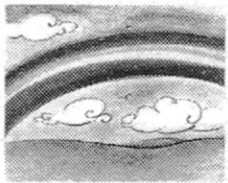
テーマ:「わたしたちが発信する 防災」(中学生の実践活動報告)

茅ヶ崎市民文化会館 大ホール

「青少年育成のつどい」は、青少年の健全育成の大切さを広く市民のみなさんに理解していただくことを目的に、茅ヶ崎市からの委託により青少年指導員が企画し開催しています。

昨年は、防災を通して命の大切さや地域について考えるきっかけとなるよう、市内 13 校の公立中学校の生徒が防災に関する DVD を見て感想を発表し、今回の実践活動を発表するための活動を 1 年かけて考えて来ました。

第31回 茅ヶ崎市青少年育成のつどい テーマ「わたしたちが発信する 防災」



日 時 平成 26 年 1 月 11 日(土)
9:30 ~ 12:00 (開場 9:15)

場 所 茅ヶ崎市民文化会館 大ホール
内 容 中学生の実践報告と意見交換
進行役 木村 敬史 (前青少年指導員)

(入場無料) どなたでも自由に参加できます。お気軽にお越しください。

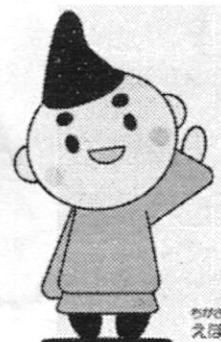
「青少年の健全育成」の大切さを広く市民のみなさんに理解していただくことを目的として、青少年指導員が企画し開催しています。
昨年は市内 13 校の公立中学校の生徒が防災に関する DVD を見て感想を発表し、今回の実践活動を発表するための活動を 1 年かけて考えて来ました。
中学生の実践報告と、この日に食のみなさんで決まっております。

主催: 茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会/茅ヶ崎市教育委員会
問い合わせ先: 茅ヶ崎市教育委員会青少年課
(027) 1111 (内線 3051r-2)

昨年度の意見交換から

- 中学生の声
 - ・地域ごとのハザードマップを作りたい。
 - ・プールなどを利用して、津波の体験ができる授業があると良い。
- 会場の声
 - ・地域の防災訓練の内容を検討し、中学生も参加できると良い。
 - ・地域における、避難訓練の必要性を感じた。

次ページ以降に各校の発表を掲載しています。
ぜひ、ご覧ください。



ちがさき
えびし麻呂

1. 萩園中学校

発表テーマ：

災害に備えて私達ができることは？

私たち萩園中学校は、昨年の発表を元に萩園中学校の生徒に「地震のためにどれくらいの準備をしていますか。」「実際に地震が起きたときにどのように行動しますか。」と言ったアンケートを取りました。

その結果分かったことと、自身の意識を高め日頃からの準備や近所の人たちとのコミュニケーションをとることが大切だと思ったことを発表しました。

2. 鶴嶺中学校

発表テーマ：オラ、防災キングになりてえ～！

夏休み前に青少年指導員の方々と顔合わせをし、夏休み中に一度集まって具体的なことを聞きました。夏休み後DVDを見て感じたことを述べ私たちには何ができるのかを考えました。

秋になり、生徒会のメンバーも変わり、改めて何ができるのか考え、出た答えは「いも料理、ダンボールでのイス作り、防災訓練の参加、生徒会便りの発行」の4つでした。

これらの活動を通して私たち生徒会本部はもちろん、鶴嶺中学校のほとんどの生徒が防災について改めて考えられたと思います。

3. 梅田中学校

発表テーマ：中学生という若いチカラ

私たちは色々な地域活動のボランティアを行っています。今年度は地域防災力を高めるには、もっと日頃の地域活動で多くの人たちとつながり、防災に活用すべきだと考えました。

地域の方々のインタビュー等をもとに、中学生の力の生かし方、そして『もしも』の時にどんなことができるかを考え発表しました。

4. 円蔵中学校

発表テーマ：

地域と一体～何があっても大丈夫！～

僕たちは今回のつどいの準備にあたって生徒会内でも様々な想いや感想をもち意識向上につながりました。また生徒の意外な結果に驚きの連続でした。

これからも中学生の『ちから』は実際の災害時にとっても役に立つという今年と去年の経験を生かしてこれからも防災・災害に対する意識向上につながる工夫をして行きたいと思っています。

5. 鶴が台中学校

発表テーマ：今、私達にできること...

私たちは地域の防災の現状を知るため、地域の防災訓練に参加したり、身近な施設やお店に防災についてのインタビューをしました。そこで私たちは、災害時に中学生も周りの人を助けられるという事を学びました。

私たちはこの事を全校生徒にも伝えたいと思い、防災についての新聞を配布したり、アンケートを実施して防災意識を高めました。災害時の中学生の役割や行動を知れた良い機会になりました。

6. 松林中学校

発表テーマ：考えて、行動する。

東日本大震災の後も、大きな地震が起こる可能性があると言われていています。そこで私たちは「実際に災害が起こった時に、どのように対処をすべきか。」その具体的な内容について考え、発表しました。

7. 赤羽根中学校

発表テーマ：AKB383～私達の取り組み～

私たちの学校は山の上にあるので津波をはじめとした災害に対する防災意識は低くなっています。だから、防災意識を高めるためにどうすれば良いのかを考え、自分たちにとって身近なハザードマップや災害用伝言ダイヤルの確認、さらに防災倉庫の見学を行いました。

そして生徒会の活動による全校生徒の意識変化を調べるための防災アンケートを行いました。私たちができる災害時の対策を考えるよい機会となりました。



防災訓練参加中

8. 北陽中学校

発表テーマ：Water～水は大切～

私たちは昨年DVDを見て、災害時に水がないと大変だと思いました。災害時でも水がある場所を知るため青少年指導員の人に教えてもらい、学区内にある「井戸協力の家」と「井戸屋」の見学に行きました。「井戸協力の家」では、本当に災害がおきた時には皆で水を分けあったりなどの井戸の活躍があったり、「井戸屋」では、防災にかかわるものが次々に作り出されています。

普段気付かないところに防災器具があるのはすごい、と「井戸協力の家」や「井戸屋」に行って改めて思いました。こういったものがたくさん増えていって、いつでも災害に備えられたらいいなと思っています。



事前打ち合わせ

9. 松浪中学校

発表テーマ：地域と共に考える防災

私たち生徒会は「地域と共に考える防災」をテーマに活動しています。具体的には、小学生や地域の方に向けて、小学校で開催されるお祭りや授業参観の機会に、防災に関するアンケート調査の実施とその調査結果の発信をしました。また、1年生の総合の授業で「防災マップ」作りをしています。自分の住んでいる地域の方と一緒に防災倉庫や危険な場所などをマップにして地域ふれあいの日（土曜参観）で発表しています。

10. 浜須賀中学校

発表テーマ：

防災アンケートの結果から

全校生徒が、災害についてどのくらい知識があるのか、どのような意識をもっているのかを知るため、また災害に対して関心をもってもらうことを目的に、クイズ形式の“防災アンケート”を実施しました。このアンケートを機に、災害について改めて考え、今後どのような対策ができるのかを知ってもらいたいです。

11. 第一中学校

発表テーマ：小さな意識

3・11が起きてから、私たちは「何かできることはないか？」と思い、昨年、宮城県南三陸町へボランティアに行きました。そこで見たこと感じたことを生かし、この一年間、一中や地域の防災意識を高めるような活動をしてきました。今回はその中で逃げ道マップ作成を中心に『東日本大震災被災地体験活動Ⅱ』や『防災まちづくりワークショップ』について報告しました。

12. 西浜中学校

発表テーマ：震災があっても笑顔でええかお

私たちは、昨年話し合われた防災から発展させ、もし被災をしてしまったときのことを考えることにしました。中学生である私たちが身近にある物で出来ることから考え始め、話し合いをしました。それが徐々に発展し、被災した方々に笑顔を取り戻す為にはどうすれば良いのかという視点に変わって行きました。

私たち中学生が年配の方や、小さな子どもまで、さまざまな年齢層に向けて送る『被災後に取り戻す笑顔』について発表します。

13. 中島中学校

発表テーマ：僕達が考えた防災訓練！！

昨年、『中学生が中心となって防災に取り組む』という提案をしました。今回はそのテーマを地震にしぼって、防災センターへ青少年指導員の方と行き、地震の怖さとそれに対する対策について学びました。その一部を学校の防災訓練で実演しました。また、地域で行われる防災訓練への参加を呼びかけた結果、約60名が参加してくれました。これらの体験を通して、学校全体の防災意識が高まったと実感しています。

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂&ミーナ



「青少年育成のつどい」当日の感想

当日の様子（撮影：広報部会）



意見交換会



会場の様子

参加した中学生の感想（当日会場にてインタビュー 抜粋）

- ・緊張したけど良かった。
- ・学校でやったことが出来た。
- ・時間が過ぎるのが早く感じた。
- ・昨年より具体的な発表する事が出来た。
- ・楽しかった！！
- ・早口になって、かんでしまった。
- ・時間がオーバーして焦った。
- ・発表前に並んで居る時に緊張した。
- ・他校の発表を聞いて、私たちはツメが甘かったと思った。
- ・他校の考えを聞いて、日頃自分たちの気づかない事がたくさんあり今後の活動の参考になった。

ちがさ興談
えぼし麻呂



来場者の声（当日会場にてインタビュー 抜粋）

●良かった点

- ・今までの中で、思いが一番伝わった。（一般・男性）
- ・自分の住む学区以外の他の学校の活動を直接聞けたのが良い。（一般・女性）
- ・改めて家族での防災について見直す事が大切だと思った。（一般・女性）
- ・中学生・高校生は、一緒に地域の方々と協力して欲しい。（一般・女性）
- ・いろいろな中学生が意見を持っていて、先輩として尊敬できる。（学生・女性）
- ・地域防災活動への、中学生の参加とかかわりを増やしたい。（地域関係者・男性）
- ・中学生の意見を反映した取り組みを、今後学校で実行して行きたい。（学校関係者）

●今後へのご意見

- ・『防災』というテーマでは大きすぎて、どこも同じような取り組みに見えてしまった。（地域関係者・男性）
- ・まとまりすぎて、大人の意見が影響している気もした。（一般・女性）
- ・どちらかというと、海側の学校の方が具体的により身近に感じているように思った。（一般・男性）
- ・意見交換の時間が短くて、ちょっと残念だった。（一般・女性）

ご来場いただいたみなさま、ご協力いただいた各中学校、そして発表してくれた中学生へ
ありがとうございました。みんなで発表した内容をこれから地域に生かしていきましょう。

青少年育成のつどいを開催するにあたって、私たち青少年指導員は実行委員会を結成して開催に向けて準備を進めて来ました。

次ページに“つどい実行委員会”を紹介させていただきます。

青少年育成のつどい実行委員会の紹介

頼れる（青少年団体の活動を支援する）

◆茅ヶ崎市青少年育成のつどい とは

昭和58年より毎年青少年指導員連絡協議会（青指連）が茅ヶ崎市より委託を受け、企画・実施している事業です。第1回開催までの経緯は、青少年問題を考えるとき、基本となる家庭教育の大切さが痛感され、茅ヶ崎市青少年問題協議会でもこの点に意見が集約されました。これを受けて市で予算化し、青指連に事業を委託しました。青指連では特別事業委員会を発足、その主旨、実情など検討をかさねた結果、『親子共育』と一緒に考える『青少年育成のつどい』を開催することになりました。

第1回は、主題として「今、子どもたちに必要なものは—おとうさんおかあさんへの提言—」を掲げ、映画「他人の子を吐いた私」の上映と労働省婦人少年室員やYMCA主事より講演が行われました。参加者は330名余で意見交換も活発でしたが、子育て中の母親の参加が少なかったとの報告が残っています。その後、青少年を取り巻く社会情勢を背景に、地域の少年と大人が理解しあう場としてシンポジウム、コンサートなどかたちを変えつつも、主旨を引き継いで『つどい』を実施してきました。

青少年指導員は、中学生とかかわりがありあまりなく実態を知らないことも多かったので、地域の中学生の考えを直接聞くことで、青指の活動や地域の活動に生かしたいという思いで、第17回より中学生が発表し、意見交換する場として開催しています。

地域というテーマの回で「地域行事の手伝いをしてみて、先生ではない多くの大人と話しができた。見方が変わった。自分たちもできることがある。」という意見もありました。また発表する中学生も普段着や内容に合わせた格好や、チーム名が「萩の風」、「小出組」など、チームワークをあらわした名前があるなど、自由でのびのびした様子を感じる回もあります。

◆つどい 開催までの 流れ

<春>

各学区より青指1名で構成された「つどい実行委員会」でその年の背景や学区の意見を入れて、発表テーマや発表方法について討議し、青指理事会の審議を経て決定します。

<春から初夏>

各学区の青指と学校の生徒や先生との顔合わせ。青指と中学生による話し合いが始まります。つどいに参加する生徒は学校により、生徒会、学級委員中心のグループ、立候補・推薦によるグループとさまざまです。前任の生徒より引きついだ生徒もいれば、初顔合わせから自然に言い合えるまでの時間が必要な生徒もいます。

<秋から冬>

忙しい中学生。部活動や習い事の時間をやりくりしながら話し合いを重ねます。計画や調査、実践もあり、生徒会改選による3年生引退もあります。そしてすべての思いを制限時間にまとめて発表です。

◆つどい実行委員長より

テーマの選定、中学生との話し合いの日程調整や、中学生の意見を地域や学校への広がりを図ることに苦労しますが、中学生と接することができ、彼らの生の声を聞けることがやりがいです。今後も青指が中学生と地域のパイプ役になり、地域の多くの大人が子どもたちの成長を考えるきっかけとなるとよいと思っています。

<過去の主なテーマと発表スタイル>

第12回 (H6年)	『青春！なかまと音の ハーモニー～聞かせて 君達の声』 コンサートと パネルディスカッション 「青春のホンネを語る」
第17回 (H11年)	『聞かせて！中学生の声 そして変えよう意識 変わろう大人たち』 アンケート集計発表と 会場との意見交換
第23回 (H17年)	『この街には おとながいる 子どもが いる ～中学生と考える 地域防災』 グループ発表と意見交換



生徒と青指が
段ボールで椅子を作製中

学区の活動紹介


浜之郷学区

★『郷の子
フェスティバル』
鶴嶺中学校吹奏楽部の演奏、おもしろ体力測定、スタンプラリー、最後は全員で腕相撲をして盛り上がりました。




鶴が台学区

★『あそびの広場』
小学校の校庭や体育館で子どもたちがいろいろな遊びを体験しました。
木工ではお父さんも大活躍でした。




香川学区

★『遊び de 防災
みんなでチャレンジ!』
「イザ! カエルキャラバン!」防災体験プログラムで学び、すいとんや蜜蠟ろうそくを作りゲームを楽しみました。



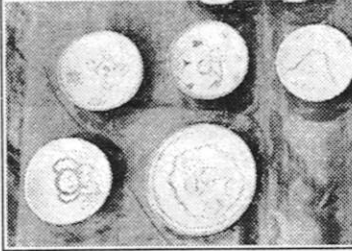
小出学区

★『推進協まつり
子ども大会
学ぶ・遊ぶ・食べる』
思い思いに飾ったペットボトルの空気砲を作り、的当てをして楽しみました。

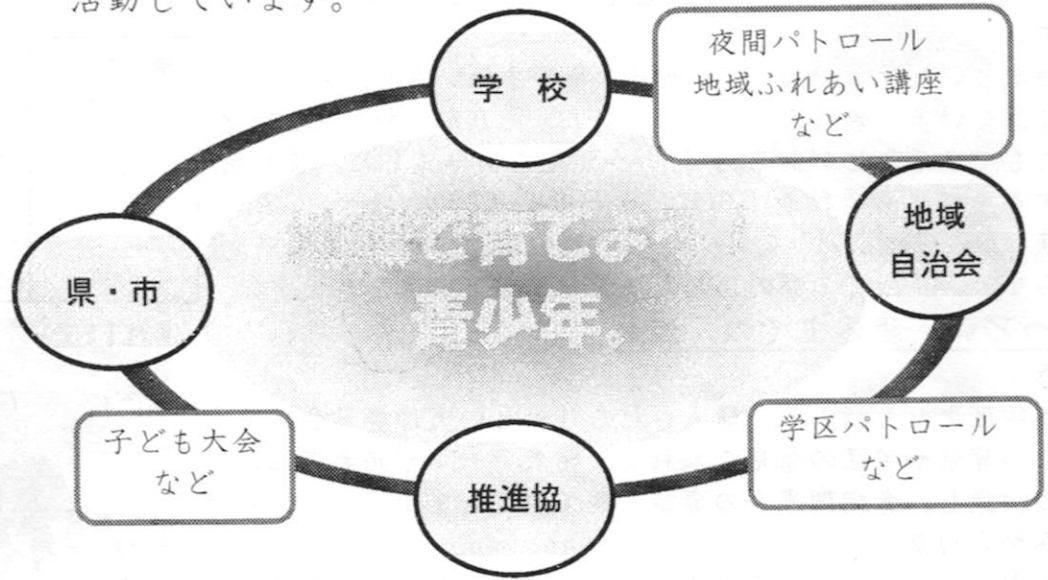


今宿学区

★『クリスマス
絵付け教室』
小学校の体育館にて、絵付け教室を開催しました。
出来上りを楽しみに思い思いの絵をお皿に描きました。




各学区の青少年指導員は、いろいろな団体と連携して活動しています。




柳島学区

楽しく学ぼう!!
防災知識!!
今年度の湘南地区防災訓練で青少年育成のつどいの発表に向けて、中学生が防災の実践活動をおこないました。




鶴嶺学区

★『つるみね
ふれあいデー』
『わくワク...なんでも体験隊』で昔遊びや点字で名刺作り、障がい者スポーツなどの体験があり、盛りだくさんの内容でした。




西浜学区

★『子ども大会』
タイルアート
木の板にモザイクタイルを貼り、オリジナルの壁掛け(フック付)やフレームを作りました。



茅ヶ崎学区

『一中 Autumn
秋コンサート』
第一中学校吹奏楽部、演劇部そして中海岸太鼓の会が地域のみんなを楽しませました。自分たちで作った衣装も思い出になりました。



円蔵学区

楽しく異世代交流！

『バードゴルフ大会』

子どもたちがバードゴルフを通して、地域の方と交流をしながら、あいさつの大切さや礼儀を教わる良い機会となりました。



室田学区

★『子どもまつり』で地域交流！

子ども実行委員と一緒に割りばしパチンコやベーゴマ、キッキングスナイパーなどを楽しみながら地域の方々と交流を深めました。



松林学区

★『松林わくわく子ども大会』

田んぼでどろんこ体験
草取りをしながら水中の生き物を探してスイカ割りや、そうめんを食べて、楽しく夏休みの1日を過ごしました。



小和田学区

プラザ小和田

『バルーンアート作り』

プラザのイベントの一つとして、平成25年は2回行いました。
4種類のバルーンの作品をみんなで作り、楽しく遊びました。



茅ヶ崎市の学区 (19学区)



梅田学区

★毎年恒例の『絵付け教室』です！
どの子ども達も夢中で、一生懸命お皿に絵を描いて、楽しんでいます！



松浪学区

『みかん狩り』
恒例のみかん狩りをしました。豚汁を食べ、お菓子のつかみ取りで子どもから大人まで盛り上がりました。



東海岸学区

『青少年指導員と遊ぼう！』シャボン玉大会

青指手作りの毛糸を巻いたハンガーの輪や端切りストローで、大小さまざまなシャボン玉を冬空に飛ばしました。



浜須賀学区

★『ビーチクリーン&防災サバイバル入門』

雨のためビーチクリーンは中止。ボーイスカウト講師からロープワークやゲーム、非常食を伝授してもらい有意義な時間でした。



緑が浜学区

『本物にふれよう講座 Vol.8』

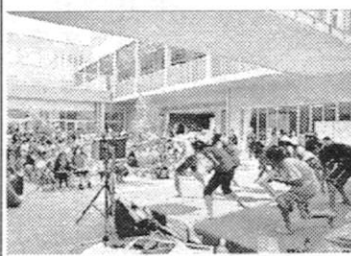
茅ヶ崎出身のアクアマリンのミマスさんと子どもたちで、作詞作曲し、それをみんなで演奏、合唱することができました。



汐見台学区

★『なぎさの子村祭り』

小学生・中学生も実行委員となり、当日はボランティアやステージ出演など子どもたちが大活躍のお祭りでした。



＜青少年指導員活動記録＞ 平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月

●市民ふれあいまつり 11月3日(日)

茅ヶ崎市中央公園

私たち青少年指導員は、バルーンアートとポスター展示で参加しました。小さな子どもでも楽しく作れる剣やとびねずみの作り方を教えながら交流しました。また、中学生の考える『青少年健全育成ポスター』を多くの方々に見ていただきました。



●全体会 11月13日(水)

県立茅ヶ崎里山公園

青少年指導員のスキルアップと交流を深めるため、「里の家」でそば打ちとピザづくりの体験をしました。地域での活動に生かせる良い機会となりました。



●第46回神奈川県青少年指導員大会 11月24日(日)

逗子市文化プラザ なぎさホール テーマ：～活かそう限りなき力を！～

講師に岩崎由純氏を迎え『元気・活気・勇気を与えるトーク術』の話をさせていただきました。短くわかりやすい言葉で相手をその気にさせる方法＝ベップトークについての話をお伺いしました。笑い感動で引き付けられ、みなさん納得しながら聞いていました。他に、逗子市と横須賀市の青指活動事例の発表がありました。また、県内合わせて60名の方々に、永年の活動に敬意を表して感謝状が贈呈されました。



【永年勤続表彰を受賞して】

＜柴田晴美さん(松林学区)のひとこと＞

地域の方々、素晴らしい仲間、そして子どもたちの笑顔に支えられ、いろいろな経験をさせていただき、感謝いたします。



◆協力事業

◆きらめき祭 11月23日(土)

県立茅ヶ崎養護学校

エプロンシアター、ミュージックベルとパネルシアターを熱演しました。特にエプロンシアターが好評でアンコールにも応えました。



◆青少年会館フェスタ 11月24日(日)

青少年会館

子どもたちにミュージックベルの指導をしました。「大きな古時計」「おもちゃのチャチャチャ」をみんなで演奏しました。



◆成人のつどい 1月13日(月)

茅ヶ崎市民文化会館

2212名の新成人を祝う

「成人のつどい」が行われ青少年指導員は受付や会場内の案内などを担当しました。



◆その他の協力事業

- ・子ども会ゲームセミナー 3月8日(土)
- ・ちがさきスポーツ・レクリエーションフェスティバル 3月9日(日)

●有害図書回収累計記録(9月～1月) 毎月1回実施 茅ヶ崎駅南口 有害図書回収ポスト

有害図書			一般図書			その他	総重量
雑誌・マンガ	文庫	DVD	雑誌・マンガ	文庫	DVD	新聞 チラシ	
483冊	20冊	209本	215冊	6冊	0本		260kg

発行：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会
編集：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会
問合せ先：茅ヶ崎市教育委員会青少年課

会長：松本陽子
広報部会
電話 0467-82-1111 (内線 3351・3352)